

平成18年設計課題 市街地に建つ診療所等のある集合住宅 (地下1階、5階建)

2006.10.6作成

採点のポイント	注意事項
(1) 計画一般 (敷地の有効利用、配置計画、ゾーニング、動線計画、各部門・各室の計画等)	メインの計画と動線 外部とのかかわり 隣地離れは最低 3m (道路は2m)以上 採光絡む場合 4m以上
(2) 設計課題の特色に応じた計画	
各部門の機能を考慮した、ゾーニング 動線計画	道路からのアプローチ動線 廊下の通りをすっきりさせる
住宅部門の各住戸は日照、採光、セキュリティ、プライバシーを考慮した計画	敷地の周辺環境の配慮 (採光・バルコニー) 公園 道路 ×北側向き ×空地 ×駐車場
広場、ガレリア、サンクンガーデン、高低差等の今年のテーマ (ピククリ玉)を考慮した一体的な平面計画 計画	初出題のヒントは必ず問題の中にあい。 焦らず前に進んで読んで行って！ 読解こそが合格へのキー (鍵) 広場の面積 (庇上部の面積除外) 植栽 ベンチ テーブル
(3) 構造・設備に対する理解	EV・DS・PS 地下機械室 + 階段 便所・MB + PS EV:15人(2.5X3.5) ・DS:(2X2)・PS各階 4ヶ所 (下階)
(4) 設計図書の表現	入口 切断位置・ドライエリア (煙突・タラップ) 地下範囲 (面積) 窓・寸法・ 文字の丁寧さ 台数 外構 防火区画 (SS)
(5) 設計条件・要求図面等に対する重大な不適合	*失格にならないためのポイント
要求図面のうち1面以上欠けるもの、又は面積表が 完成されていないもの	面積表の計算し易さ(文字などの配慮)=採点のし易さ 完成図面の提出
「ラーメン構造による鉄筋コンクリート造(一部を鉄骨造としてもよい。)、地下1階、地上5階建」でないもの	平面図の柱の設置 (漏れが無いように！) 断面図の柱、梁大きさ 建物の高さ 地下の有無と 基礎図の有無 寸法線の記入 (計算し易い寸法記入)
図面相互の重大な不整合 (上下階の不整合、階段の欠落等)	縦から見た不整合 建物の配置・EVの配置 階段の位置 外部階段の位置・DS, PSの位置
床面積の合計が予想 2,900㎡以上、3,300㎡以下 違反	面積の少ないものや大きいものは 即失格
「所要室」及び「その他の施設」のうち、次のいずれかの室又は施設が計画されていないもの	所要室 広場 吹抜 は必ず設け、面積の確保 住宅の戸数は必ず守る *利用方法の不明な空間 が多い図面は 不合格 になる
建築ベイ率オーバー違反	建ベイ60% の場合は バルコニー や 庇の出幅の注意 (6X7=42の場合 建面オーバー を誘導する問題)
乗用エレベーター計画されていないものと (欠落)	EV台数(1~2基)を必ず守る 部門別ごとのEVを 混同させない EVはロープ式は機械室無し 油圧式は機械室10m以内でFL-500

道路斜線、住居系北側斜線違反	道路斜線 (8m以下道路注意) 庇のバック含め 1.5mの確保 EVの塔屋は建物高さ3.5mの場合 17.5mの確保 住居 北側斜線 (10+ 1.25チェック)違反
採光違反 (住居系の隣地間 = 腰窓からの採光) やトブライトの要求確認	(住居の場合) 2Fまでは 5m- 3Fまでは 4m必要離れ寸法 (商業の場合) 3Fまでは 3m必要離れ寸法 (バルコニー-先端注意)
2方向避難と重複距離の違反	階段の数は合計 4ヶ所 (住宅 1+ 外部階段 = 2 診療所 1+ 管理 1= 2) 仕上・下地は準不燃以上記入 (50m (2.5m)・60m (30m))
その他設計条件を著しく逸脱しているもの(多数の室・施設の欠落等)	チェックリスト参照
備考 基本的に自分のペースを大切に。 (人に振り回されない) 自分のための試験であり、自分の結果でのみ合格できる 1級建築士になる (今回なぜ退職してまで取得しようとしたか思い出す！) エスキースができる (必ずまとまる = 自分を信じる) 製図が完成できる (時間が無くても私なら出来ると信じる) チェック時間は必ず 15分確保 (5分チェック + 修正 10分 焦らず、すぐに修正しない！)	建物高さの目安
	5階建て (パラペット + 600・1FL + 100) の場合
	1-2 Fが4000 + 3-5 Fが3500とした場合 19200
	1-2 Fが4000 + 3-5 Fが3000とした場合 17700
	1-2 Fが3500 + 3-5 Fが3000とした場合 16700道路斜線
地下階高は4000又は3500とする。	